

労働者協同組合法成立記念作品

映画上映会2025

医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ベシワール会／PMS
企画・提供◎日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 センター事業団
一般社団法人 日本社会連帯機構
製作◎日本電波ニュース社 HD／16:9／カラー／47分

2025年12月 21日(日) 13:30～16:00

(開場13:00)

会場

ウェルとばた 大ホール

参加費

一般1,000円 高校生以下500円
小学生以下 無料

(会場にてお支払いください。)

お申込みは
コチラから



プログラム

①映画上映

ドキュメンタリー映画

『医師 中村哲の仕事・
働くということ』

予告編はコチラ！



②アフタートーク

医師・中村哲から学ぶ利他の精神。
～新しい働き方の提案～

登壇者

玉井 行人氏

(株式会社ギラヴァンツ北九州取締役会長、中村医師の従弟)

聞き手

牛草 賢二氏

(労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業 九州沖縄事業本部長)

主催：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

共催：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団九州沖縄社会連帯委員会

協力：株式会社ギラヴァンツ北九州、九州シネマ・ポート、火野葦平資料の会

後援：北九州市・北九州市教育委員会・NHK北九州放送局・西日本新聞社

毎日新聞社・読売新聞西部本社・朝日新聞社

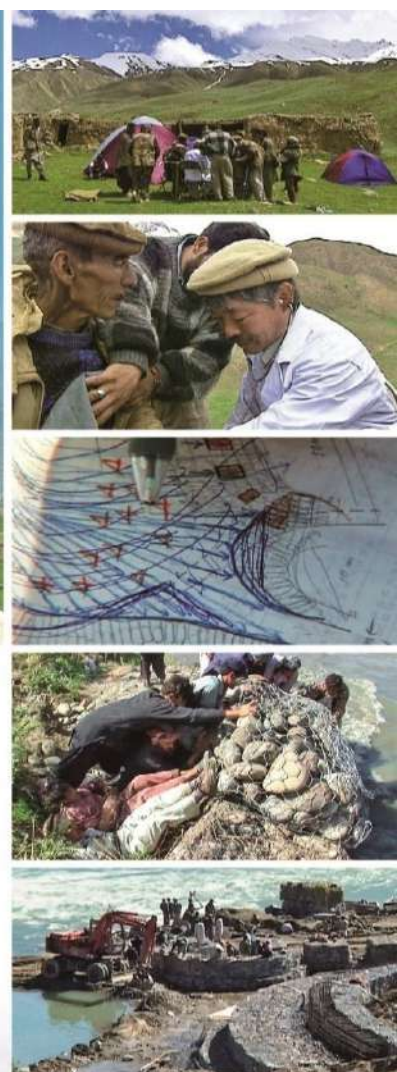
医師中村哲の 仕事・働く ということ

アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。

そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。

親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。
中村医師は言う「これは人間の仕事である」



登壇者プロフィール

玉井 行人(たまい ゆきと)

株式会社ギラヴァンツ北九州取締役会長。

西日本新聞の記者を経て現職。

中村哲医師とは従兄弟。叔父は、芥川賞作家の火野葦平。
働くことや他者との繋がりなど、北九州の地で育まれた
中村医師のルーツや意志を語り継ぐ活動をしている。



会場アクセス

北九州市 ウェルとばた

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号

- JR鹿児島本線戸畑駅 徒歩 1 分
- 専用駐車場あり

お問合せ

労働者協同組合

ワーカーズコープ・センター事業団
九州沖縄事業本部

☎ 092-441-7587 (平日10-17時)

mail : kusukb@roukyou.gr.jp

